

PrimePrep™ PCR Purification Kit

イントロダクション

PrimePrep™ PCR Purification Kitは、PCR/酵素反応混合物から精製するためのシンプルで迅速、かつ費用対効果の高い方法を提供します。

精製されたDNAは、ライゲーション、シーケンシング、その他のダウンストリームアプリケーションに直接使用することができます。

キットコンポーネント(製品)

Cat. No. Reagents	K-7000 (50 prep.)	K-7001 (200 prep.)
Spin column	50 ea	50 ea x 4
Buffer PCR-B	30 ml	120 ml (40 ml x 3)
Buffer PW	10 ml	30 ml (15 ml x 2)
Buffer PE	10 ml	20 ml

始めにご準備下さい

- Buffer PWにエタノールを加えて下さい。
→ エタノール量: 40 ml (K-7001の場合60 ml)

手順

1. (サンプル量):(Buffer PCR-B量)が1:5になるようにBuffer PCR-Bを加え、ボルテックスでよく混ぜます。
例)PCR 反応産物が 50 μ l の場合は 250 μ l の Buffer PCR-B を加える。
2. チューブを室温で短時間遠心します。
3. 混合液をスピнкаラムに移します。
4. 13,000 rpmで30秒~1分間遠心します。フロースルー液を捨て、スピнкаラムを同じチューブに再度セットします。
5. 700 μ l の Buffer PW を加え、13,000rpm で 30 秒間遠心します。フロースルー液を捨て、スピнкаラムを同じチューブに再度セットします。
6. さらに 13,000 rpm で 1~2 分間遠心し、残っているBuffer PW を除去します。
Buffer PW 中の残留エタノールは、その後の酵素反応を阻害する可能性があります。
7. スピнкаラムを新しい 1.5 ml 遠心チューブにセットします。(キットに付属されていません。)
8. Buffer PEまたは脱イオン蒸留水50 μ lをカラムのメンブレン中央に加え、1分間静置した後、13,000rpmで1分間遠心する。
大きなフラグメント(>5kb)の場合は、あらかじめ温めた(70°C)Buffer PEを使用すると効率が上がります。